

事務事業名		雲南市飯南町事務組合(清掃事業)運営事業		所属部	市民環境部	所属課	環境政策課
総合計画 画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	環境グループ	課長名	土屋 和則
	施策名	(10)自然と地域環境の保全		担当者名	村松 優	電話番号	0854-40-1033 (内線) 2125
	目的 対象	市民	意図 自然環境、景観を守る意識を高め、地球環境に配慮した生活をおくるとともに創造する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 2 0 0 2 項 目 中事業 中事業 1 0 0 5 2 6	清掃総務管理事業 雲南市飯南町事務組合負担金(清掃事業)	
	基本事業名	(030)廃棄物(ごみ)の減量と適正処理の推進					
目的 対象	市民	意図 ごみを減量するとともに適正に処理する。					

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	雲南市飯南町事務組合へごみ収集・処理の負担金を支払う。 ・大東、加茂、木次、三刀屋 可燃物:雲南エネルギーセンター(ごみ固形燃料RDF化) 不燃物:リサイクルプラザ ・吉田、掛合:いいしクリーンセンター(可燃物は出雲エネルギーセンターへ処理委託) 組合議会や会議への出席 なお、ごみの排出量は国が実施する一般廃棄物処理事業実態調査により確定するため、今回28年度値が確定。29年度値は見込値。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動) 負担金の支払い、会議への出席		30年度計画(30年度に計画する主な活動) 前年度に同じ			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
ア	負担金交付回数	回	5	5	5	5	
イ							
ウ							
エ							

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	雲南市民	ア	市民	人	39,032	38,506	37,794	37,987
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)		
一般廃棄物の適正処理	ア	ごみ総排出量	トン	10,200	10,169	10,138	9,940	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)	
負担金640,602千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	29,500	15,500	14,200	
		その他	千円				
		一般財源	千円	609,254	626,351	626,402	541,995
	事業費計(A)		千円	638,754	641,851	640,602	541,995
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	
延べ業務時間		時間	150	150	150		
人件費計(B)		千円	587	595	612		
トータルコスト(A)+(B)		千円	639,341	642,446	641,214		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
3Rの推進により、ごみの減量化が進んでいますが、近年増加傾向にある。古紙及び古着回収を平成26年度より雲南市・飯南町事務組合へ移管した。	分別収集への協力依頼を市民におこなってきた。	組合議会において、ごみの効率的な処理の実施が求められている。

事務事業名	雲南市飯南町事務組合(清掃事業)運営事業	所属部	市民環境部	所属課	環境政策課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	ごみの減量化・分別について、周知を行っているところであり、今後成果向上の余地はない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	法に基づいており廃止できない
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		ごみ処理を効率的に行うため事務組合で行っているところであり、統廃合できない
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		経費節減は常に努力している
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		業務委託等実施されている
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		雲南市民を対象としており公平、公正である
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) ごみ処理は、適切に行われている	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
雲南エネルギーセンターは、運用開始後10年以上経過しており、計画的な施設修繕が必要であるとともに、延命化工事を行っていく。また、新たな施設等の検討を行っていく。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		